

大臣認定 F☆☆☆☆
環境対応接着剤

ダイアボンド CK461SP

ダイアボンドCK461SPは、VOC対策をとったスプレータイプのクロロプレンゴム系接着剤です。

§ 特長

1. ノンホルムアルデヒド仕様です。
2. トルエン・キシレンを使用していません。
3. 可塑剤を使用していません。
4. 速乾性で、作業性に優れます。
5. 広範囲の材料に適用できます。
6. 耐水、耐老化性に優れます。

§ 用途

1. 自動車や車両の内装材の接着
 2. 建築内装材の接着
 3. ドア、間仕切パネル、家具、テーブル、サイジングボードなど各種建材の接着
 4. その他 断熱材、繊維、木材、金属、ゴム、皮革の接着
- ☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

主 成 分	クロロプレンゴム
外 観	黄褐色
不 揮 発 分 (%)	20 ± 1.5
粘 度 (mPa·s) at20°C	150 ~ 400
指触乾燥時間 (分) at20°C	1 ~ 3
粘着保持時間 (分) at20°C	15 ~ 25
保 証 期 間 (月) at25°C	6
引 火 点 (°C)	-17
発 火 点 (°C)	240

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ、油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。
2. 塗布方法 スプレーで被着材の両方に接着剤を均一に塗布します。
塗布量は、片面当たり 200~300 g/m² (両面で 400~600 g/m²) 塗布して下さい。
 - ・スプレーガンの口径：2~2.5 mm φ
 - ・エア圧：0.3~0.5 MPa
3. はり合せ 常温にて 5~20 分間乾燥してからはり合せます。
4. 加 圧 はり合せ後、充分に加圧して接着します。

§ 接着性能

1. 接着強さ

180度方向はく離強さ(N/25mm)

		鋼板／綿帆布	アルミニウム板／綿帆布	ステンレス／綿帆布
常 態	1 時間	25	25	25
	24 時間	45	40	35
	48 時間	60	45	60
	96 時間	70	50	90
熱老化	70℃・96 時間	90	50	90
耐 熱	80℃	25	25	30
耐 水	48 時間	50	35	20

試験方法：JIS K 6854 に準ずる

2. 軟化温度

1 日目	160 ~ 180 °C
6 日目	200 °C以上

試験方法：JIS K 6833 に準ずる

§ 注意事項

- ・ 保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・ 取扱い作業中には、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- ・ 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消化器を用いて下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、水で口の中を良く洗い、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、すぐに付着物を拭き取り、水と石けんで良く洗います。
- ・ 容器を密閉にして、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 凍結に注意して下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、布で拭き取って、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 消防法：第四類第一石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅱ）に該当

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。